



第16期

ヤングエグゼクティブ・プログラム

2025年度 開講

KAL

THE KYUSHU-ASIA INSTITUTE OF LEADERSHIP

【 プログラム趣旨 】

近年、激変する世界、未だ道筋の見えない様々な社会問題、毎年起こる大規模自然災害、DX化による産業構造の変化等、国内外を取り巻く環境は日々大きく変化しています。

これらに順応するためには、**既存の価値観にとらわれない発想力、道なき道を切り拓く行動力のある真のリーダー**が求められます。

九州・アジア経営塾では、主幹プログラム（碧樹館プログラム）よりさらに若い世代を対象に本プログラムをスタートし、今年度16期目を迎えます。自分自身と向き合い、多角的な視点で議論を重ねながら、次世代を切り拓くリーダーに必要な志や知恵を教授するために、各界のトップランカーにご登壇頂きます。

【 チームビルディング 】

ヤングビジネスパーソンが社会や市場の変化に適応し、自社自組織の問題解決に取り組む為の継続型ワーク形式セッションを今年度も導入いたします。

講義受講で得た知識や実践知、プログラム修了自体に満足するだけでなく、体系的なチームビルディング手法を活用し、互いに情報交換を重ねながら継続的に取り組みます。インプットから実践まで試行錯誤を繰り返し、チームや職場で議論やインタビューを行いながら、成功体験を積み重ねていくことを習慣化します。最終的には、塾生自身が意識改革を行い、組織改革者の一人として成長します。最終セッション日には、集大成としてのプレゼンテーションを公開します。

【 プログラム テーマ 】

“ 自らの殻を知り、破り、創造と実践へ ”

【 開講目的 】

① 「知らないことを知る」 ～無知の知を知る～

- ・次世代リーダーとしての学び方を学ぶ
- ・各界の経営者、プロフェッショナル講師から実践知を学ぶ

② 「私（個） から 私たちへ」 ～多様性を集合知へ～

- ・個の力を、Teamとして集合知へ包含する
- ・リーダー、フォロワーとしてのTeam Building を実践する

③ 「組織人として目標を定める」 ～学びを知恵に変え、知恵を行動へ変える～

- ・組織人として成長成果を組織へ還元（貢献）する
- ・自らのやりたいこと（will）を決意表明する

開催日程

テーマ、開催時間等は、登壇講師と調整中（8月下旬までに正式にご案内予定）
また、開催日程は、講師都合により変更になる場合があります。

第1回	10月1日（水）	※開講式 セッション「リーダーシップ」/寺子屋式リーダーシップ対話
第2回	10月8日（水）	セッション 「チームビルディング①」※合宿
第3回	10月9日（木）	セッション 「チームビルディング②」※合宿
第4回	11月5日（水）	セッション 「経営戦略基礎」（仮）
第5回	11月19日（水）	寺子屋式リーダーシップ対話 / セッション
第6回	12月3日（水）	セッション 「経営数字 入門」（仮）
第7回	12月17日（水）	セッション 「チームビルディング③ 中間発表」
第8回	1月14日（水）	セッション 「実践JOB理論 ～マーケティング～」（仮）
第9回	1月28日（水）	寺子屋式リーダーシップ対話 / 寺子屋式リーダーシップ対話
第10回	1月29日（木）	セッション 「次世代の人財育成とリーダーシップ」（仮）
第11回	2月12日（木）	寺子屋式リーダーシップ対話
第12回	2月25日（水）	セッション 「企業におけるイノベーションの推進力学」（仮）
第13回	3月11日（水）	セッション 「チームビルディング④ 最終発表」 ※修了式

【参考】2024年度 第15期 登壇講師

左枠内は寺子屋式リーダーシップ対話
右枠内はセッションの登壇講師

「捨てない未来の先の 未来を見据えて」

岩元 美智彦 氏

株式会社 JEPLAN 創業者／取締役 執行役員会長



「未来への実践」

西村 勝 氏

久山町長



「組織を越えたつながりによる 共創と変革」

濱松 誠 氏

One Panasonic 発起人／
ONE JAPAN 発起人・代表



「なんのために勝つのか」

廣瀬 俊朗 氏

株式会社 HIRAKU 代表取締役



「未来創造型リーダーシップ」

山崎 大祐 氏

株式会社 マザーハウス 代表取締役副社長



「失敗が運んでくれたかも しれない“運”“縁”“徳”」

吉村 拓二 氏

株式会社ふくや 支援部執行役員部長
第4期若樹館プログラム卒業生



「経営戦略基礎」

井上 潤吾 氏

ホストコンサルティンググループ
マネージング・ディレクター&シニア・パートナー、福岡オフィス代表



「起業家のように企業で働く」

小杉 俊哉 氏

合同会社THS経営組織研究所 代表社員
慶應大学SFC研究所 上席所員・大学院理工学研究科 非常勤講師
ビジネス・ブレークスルー大学大学院 経営学研究科 客員教授



「チームビルディング」

齋藤 秀樹 氏

株式会社アクションラーニングソリューションズ
代表取締役



「次世代の人材育成とリーダー シップ」

田村 馨 氏

福岡大学商学部 教授



「経営数字 ～入門～」

西山 茂 氏

早稲田大学ビジネススクール 教授



「実践JOB 理論」～マーケティング～

早嶋 聡史 氏

株式会社ビス・ナビ&カンパニー
代表取締役社長



「企業におけるイノベーション の推進力学」

本間 善丈 氏

株式会社ライズ・コンサルティング・グループ
Associate Partner



【 募集要項 】

1. 募集人員

① 定員 36 名

- ・原則として1企業団体から1名を上限といたします。
- ・グループ会社内で複数名派遣の場合は、企業毎に1名カウントいたします。
- ・個人で申込みを希望される場合は、事務局までお問い合わせください。

2. 求める塾生像

- ① 自らの成長を求め、「課題」と「自覚」を持ち、積極的に臨める人財
- ② 自分事として捉えられ、努力を惜しまず「学びの場」に積極的に参画できる人財
- ③ 「学び」を現実生かす「知恵」に変え、失敗を恐れず、実践できる人財

具体的には、下記人財を想定

- ・企業団体のアーリーミドル層人財
(次世代の中核を担う成長過程の若手層) (管理職登用前のポテンシャル層)

3. 開催日程等

- ① 2025年10月～2026年3月、延べ90時間(13日間)受講いただきます。
- ② 平日(午前09時30分～午後5時00分まで)の開催を基本とします。
- ③ 講師都合等により、開催日、開催時間、開催場所を変更する場合があります。
- ④ プログラム2日目 3日目は、合宿(1泊2日)を行います。

4. 開催場所

- ① 電気ビル共創館7階(福岡市中央区渡辺通2丁目1番82号)
- ② 開催会場が異なる場合、別途ご案内いたします。
- ③ 合宿予定会場: のがみプレジデントホテル(飯塚市新立岩12-37)
※当ホテルは、碧樹館プログラムの合宿でも利用しております。

5. 対象者

- ① 将来の上級管理職、経営幹部として期待される人財
- ② 満38歳以下(今年度39歳になる1986年4月2日～1987年4月1日生まれまでの方)
- ③ 役職不問、MBA等の学位や資格等も問いません。

6. 修了の認定

- ① 全課程終了後、次の2つの条件を満たす塾生に修了証を授与
 - ・セッションおよび寺子屋式リーダーシップ対話への70%以上の出席
 - ・各講義後のリフレクション・ペーパー、計画書(チームビルディング、自己成長)の提出

7. 受講料

- ① 60万円(消費税込)
- ② 教材費は、受講料に含まれています。
- ③ セッション日の移動費、昼食費等は含まれておりません。
- ④ 次の費用は、別途ご請求いたします。
 - ・宿泊合宿費用(10月開催予定) ※2万円～3万円程度

8. 申込みについて（一次募集）

- ① 対象期間：6月2日（月）～6月23日（月）まで
- ② 派遣枠：1企業団体あたり1名（1枠）まで
- ③ 申込方法：下記Googleフォームより、入力をお願いいたします。
- ④ 予約枠36名に達し次第、募集終了いたします。（先着順）
- ⑤ この期間は派遣枠の確保申込となり、申込時点で派遣者の選定は不要です。

9. 受講申込書（派遣者の人選）の提出

- ① 派遣者の選定後、指定様式による受講申込書のご提出をお願いします。
- ② 提出期間：7月1日（火）～8月8日（金）
- ③ 開講後、塾生変更はプログラム構成上できかねますのでご了承ください。

10. 二次募集について

- ① 一次募集期間（上記8.①）終了後、定員枠に空きがある場合のみ案内
- ② 同一企業団体より2人目の派遣も可
- ③ 応募多数の場合は、KAIL会員企業団体様を優先とし、抽選を実施

11. 受講環境

- ① デジタルツール（SLACK、DROPBOX、電子メール等）を利用します。
- ② インターネット環境を各自で整備ください。

12. 申込方法（Googleフォーム）

- ① 下記、二次元コードより、エントリーをお願いいたします。
- ② 二次元コード申込みができない場合は、別途ご連絡ください。

【Googleフォーム】



【 2024年度15期修了生 ～受講を終えて～ 】

**本プログラムを通じ、自分自身の「殻」は何でしたか？
また、今後どのように向き合っていきたいですか。**



**株式会社RFG不動産
志波由子さん**

私の「殻」は「改善の必要性を感じながらも変化を起こせず、現状に留まっていた」ことです。現状が最適でないと分かりながらも、変化を起こす自信と本気が足りず慣れた環境にとどまる選択をしていました。

この半年間を通じて「チームのため」に現状を変えることに挑戦する行動力があれば、一人では成し得ないこともチームなら実現できると実感しました。

今後は、変えることを恐れず、チームの力を信じながら自ら行動を起こし続けるリーダーになります。そして、本プログラムで出会った多くの方のように私自身も「気づき」を伝播できる存在を目指していきます。



**西日本鉄道株式会社
小柳賢史さん**

私にとっての「殻」は、自分の思いが実現できないことを、組織や社会環境などのせいだと決めつけてしまう「他責思考」でした。

できない理由ばかり並べ、できることは何か？を考えるに至っていませんでした。「できない」のではなく、「やっていない」だけだったのです。

立場や環境に関わらず、できることは必ずあります。どんな課題も自分ごととして捉え、今の自分にできることを一つずつ実践していきます。



**J A三井リース九州
株式会社
西村晴奈さん**

私の殻は、何かが形になってきたり、ゴールが見えてきたりすると、いわゆる“落としどころ”に向かって収束するように力を抜く癖があることでした。

特にプログラム後半、チームの成果物が形になってきたとき「この程度で良いだろう」と思う気持ちが生れました。しかしチームメンバーの妥協せずにとことん議論する姿勢や、「100%の力を出しているか、100%でやり続けた人しか辿り着けない世界がある」という講師の言葉に触れ、99%以上の力は出せたと自己評価します。

今後は、後から振り返ってみたときに100%の力でやれたと胸を張れるような人生を送りたいと思います。

【 2024年度15期修了生 ～受講を終えて～ 】

本プログラムを通じ、ご自身の「心持ち」や「行動」、「考え方」等にどのような変化が起きていますか。
また、それはなぜそのような変化が起きたとお考えですか。



九州電力株式会社
富永貴史さん

受講前は、自分に自信がなく、また周囲からの評価が下がらないことを主眼におき、目の前のタスクをこなすことに注力していました。「新たなチャレンジ」を行うことにハードルを感じていましたが、いざチャレンジしてみると、想像していたよりも周囲からの反応はよく、チャレンジする姿勢を周囲はきちんと見ていて、評価してくれました。

また、チームメンバーからは心からの賛辞を貰い、メンバーのやる気に繋がったことで、自分のチャレンジに大きな意義を見出すことができました。この経験から、今後も何かしらの取組みを続けていき、自身のチャレンジによって職場や会社、ひいては社会に良い影響を与えていきたいと思うようになりました。



株式会社山口フィナンシャルグループ
大場健太郎さん

受講前は「とにかく同世代のビジネスパーソンに負けたくない」「成長しなければ居場所がなくなるかもしれない」という焦りからくる成長意欲しかありませんでした。

しかし現在では、自分が成長し、地域のお客さまや企業により良い金融サービスを提供する。そして地域を活性化することで『未来の子供たちが過ごす世界を少しでも明るくしたい』という明確な目的を実現するために成長したいと考えるようになりました。また、本プログラムを通して、チームメンバーとの本気のセッションにより内省し、自身の核となる価値観と徹底的に向き合うことができました。



株式会社佐電工
北島梓さん

受講前は、与えられた業務をただこなすだけの日々を過ごしていました。受講後は、「自分がどうありたいか」や「その姿になるために今何をすべきか」を考え、それに基づいて行動するようになりました。

さらに、周囲の意見や行動を受け入れ、他者の視点から学び成長することの重要性を理解するようになったことで、何事にも学びや成長のチャンスがあると捉えられるようになり、思考が前向きに変化したことを実感しています。

特に、チームビルディングが自分の考え方に大きな影響を与えました。「自分が主体的に動く必要がある」という気付きが生まれたことに加え、他者の考えや言動を柔軟に受け入れることで、より良い成果を目指せることに気付くことができました。

(セッション形式)



(寺子屋式リーダーシップ対話形式)



KAIL

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通2-1-82電気ビル共創館 7階
TEL : 092-726-1861 FAX:092-726-1869
E-mail : info@kail.jp



【Map】

